

■米国：2011年度予算が可決

オバマ大統領は2011年4月15日、2011会計年度（2010年10月～2011年9月）予算に署名した。2011年予算は2010年から審議が続けられていたが、大幅な歳出削減や環境保護局（EPA）の規制権はく奪を条件に盛り込みたい共和党とこれに反対する民主党との間で調整がつかず、これまで短期のつなぎ予算（CR：Continuing Resolution）を数度可決して本予算の審議を延長してきた。4月8日には連邦政府機能停止の危機もあったが両党が歩み寄り、予算要求よりも約390億ドル削減することで合意に至った。エネルギー関連では、規制権はく奪は盛り込まれなかったもののEPAの予算が2011年度要求額から16億ドル（約16%）削減の870億ドルとされたほか、エネルギー省（DOE）ではエネルギー効率化・再生可能エネルギー局（EERE）の予算が4億ドル（約18%）削減されたと報じられている。各省庁は今後の配分された予算枠をもとに各プログラムの予算配分を決める。なお議会では2012会計年度の予算審議も並行して行われており、その動向が注目される。